

令和6年度「在南米・在北米被爆者健康相談等事業」派遣団医師等の 知事面談について

1 概要

在南米・在北米被爆者の健康保持と増進に資することを目的に、広島県が国から受託し、広島県医師会等の協力を得て実施する在外被爆者健康相談等事業等について、派遣団医師等が、出発にあたり知事と面談する。

2 日時

令和6年9月27日(金) 17:00~17:15 (於: 北館第一応接室)

3 面談者

- 松村 誠(団長) 広島県医師会会長、松村循環器・外科医院理事長
- 茗荷 浩志(団員) 広島県医師会常任理事、五日市幸楽苑施設長
- 檜山 桂子(団員) 広島県医師会常任理事、福原医院院長
- 神谷 研二 HICARE 会長、放射線影響研究所理事長

※ ロサンゼルスで、10月12日に、現地で実際に被爆者に接する医師等を対象に HICARE 主催の「被爆者医療研修会」を開催。

4 次第

- 松村団長あいさつ
- 神谷 HICARE 会長あいさつ
- 知事あいさつ

※ 終了後写真撮影を行います。

【令和6年度在南米・在北米被爆者健康相談等事業】

- ① 派遣期間: 10月8日~10月22日
- ② 派遣都市: バンクーバー、ロサンゼルス、サンパウロ
- ③ 派遣医師: 松村 誠 (VAN・LA・SP) [再掲]
茗荷 浩志 (LA・SP) [再掲]
檜山 桂子 (LA) [再掲]
重野 賢也 (SP) 日本赤十字社長崎原爆病院副院長
- ④ 行政職員: 広島県健康福祉局長ほか計4名 (VAN・LA・SP 2名、LA・SP 2名)
※ VAN: バンクーバー、LA: ロサンゼルス、SP: サンパウロ



資料提供
令和6（2024）年9月20日
放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）事務局
（広島県健康福祉局被曝者支援課内）
担当者 関野（セキノ）、河中（カワナカ）
電話 082-228-9901

【広島県政（広島市政）記者クラブに同時提供】

米国ロサンゼルスでの現地被曝者医療研修の実施について

HICARE（放射線被曝者医療国際協力推進協議会）は、広島に蓄積された被曝者医療の経験や原爆放射線の人体影響に関する研究を踏まえ、在外被曝者健康相談等事業の実施に併せて、直接被曝者に接する現地医師等を対象とした研修会をロサンゼルスで実施します。

1 目的

- （1）現地にて被曝者医療に携わる医師等へ、高齢化が進む被曝者の状況や原爆放射線の人体影響にかかる知見を広め、被曝者の居住地での医療の充実を図る。
- （2）東日本大震災による福島第一原子力発電所事故以降、福島県により実施された「県民健康調査」を通じて得られた知見を広める。

2 講師

神谷 研二 HICARE 会長（公益財団法人放射線影響研究所理事長）
松村 誠 HICARE 理事（一般社団法人広島県医師会会長）
北原 加奈子 HICARE 幹事（広島県健康福祉局長）

3 研修概要

開催日 (現地時間)	場所 (対象者)	内 容
10/12 (土) 14:00～ 16:00	大里メディカルクリニック (関連病院医師 等)	①被曝者は今～被曝 79 年～ 講師 松村理事 ②福島県「県民健康調査」結果概要 講師 神谷会長 ③在外被曝者への援護施策 講師 北原幹事

※大里メディカルクリニック：在北米被曝者健康相談等事業の実施会場として協力

在外被曝者健康相談等事業

在外被曝者の健康保持及び増進を図るため、現地に医師等が訪問し、健康相談等事業を毎年行っている。（令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

広島県が国から受託し、広島県医師会等の協力を得て、北米・南米で実施。

- ・今回訪問先：バンクーバー、ロサンゼルス、サンパウロ
- ・訪問期間：令和6年10月8日（火）～10月22日（火）